

## ミニ懇談会報告書

申込者：医療法人社団昭桜会

テーマ：白井市の介護保険計画の方向性について

日時：令和5年8月17日（木）午前10時～11時

場所：白井市役所本庁舎3階特別会議室

出席者：医療法人社団昭桜会 3人

笠井市長 高山秘書課長ほか2人

### 【懇談概要】

#### ○昭桜会

利用者から在宅支援が不足していると意見をいただくほか、事業者としても計画止まりで現場まで行き届いていないように感じています。

そこで、今後の在宅支援の必要性について市長の考えを伺います。

#### ○市長

現在、次期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するため、アンケートなどにより課題の抽出を行い、計画内容を検討している段階です。今後については、集まったデータを基にどのような計画にしていくかを考えていきます。

なお、市の総人口に占める65歳以上の割合である高齢化率は28.2%で、国の平均である29%よりは低くなっていますが、平均寿命の延びにより今後の高齢化率は上昇が予想されています。

また、介護認定率は現在13.7%となっていますが、高齢化率に併せてこちらも上昇が予想されています。今後の将来に向けて、今策定している計画は重要になるため、いただいた御意見は担当課にも話をします。

#### ○昭桜会

地域包括支援センターについて伺います。

業務が多岐にわたるためセンター職員が不足していて、地域分布についても現状の三つではカバーできていないように感じています。

#### ○市長

地域包括支援センターの地域ごとの高齢者人口は、各地域で5,000人前後となっており、高齢化率にしても25%から30%までの間で平均が取れていると思われます。

しかし、今後これらのバランスが大きく偏ることもあるため、経過を見ていく必要がありますが、現状では変更する必要はないと考えています。

○昭桜会

白井市まちづくり条例で規定されている、近隣住民等への説明について、開発事業標識板を設置した日から7日を経過した後となっておりますが、近隣事業者としては少しでも早く知りたいという気持ちがあります。

○市長

現場の事業者の声として御意見をいただきます。

また、条例の内容等について審査をする審議会がありますので、問題提起をしていきたいと考えています。

その後、必要と判断されれば議会でも議論をしていきたいと思えます。

○昭桜会

ナッシー号のバス停が危険な場所にあり、移動の必要性を市に申し出ましたが、実現に半年以上かかりました。その間に事故が起きる可能性もあり、市民の命にかかわることは早急に対応できるようにしてほしいと思えます。

○市長

御意見をいただいた場合は、すぐに現地確認をすることが重要だと考えています。

そのうえで、臨機応変に対応しなければならないことと、しっかりと法令等を確認し、対応を検討しなければいけないことがあると思えますが、市民の安全にかかわることは早く対応するよう職員に指示を行います。

○昭桜会

今後も白井で多くの方を支援られるように活動していきたいと考えています。

○市長

福祉事業における現場の実情はとても大変だと感じています。そのような中で、白井のために活動していただき感謝しています。

今後とも御協力をよろしくお願い致します。